

## 平成29年度篠山市立西紀中学校学校評価

- (教育目標) 基礎力・思考力・実践力をもち、磨き合って共に自立に向かう生徒の育成  
(めざす生徒像) 主体的な学びと対話を通して、深く考え実践する生徒  
(めざす学校像) 安全安心を基盤に生徒が生活・学習を創造するコミュニティ・スクール

### 次年度改善の柱

- 1 社会や将来の糸口をつかむキャリア教育の意義を生徒・保護者に啓発する中で、自治的能力や社会参画する力を育成するため、部活動も含め学習・生活上の課題や将来・社会につながる課題について話し合い、合意形成し、協力・実践する活動を充実する。(キャリア教育)
- 2 知識・技能が他の学習や生活で活用できるよう、見通しを立てて予習をしたり振り返って復習したりする習慣の確立を図るとともに、書くことによる個人思考、対話による集団思考、修正・推敲などの振り返りを充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。(学習指導、特に授業改善)
- 3 いじめ、不登校等に対して、即時即日で関係機関とも連携した組織的な教育相談を引き続き進めるとともに、情報機器の活用等、今日的課題について生徒会も活用し、実感を伴った教育活動を充実する。(生徒指導、特に情報モラル教育)
- 4 生徒・保護者・地域・教職員による四つの力委員会により、社会に開かれた教育課程を一層進めるとともに、生徒に向き合う時間の確保のため、業務のやり方の工夫、効率化を進め、多忙感を解消する中で多忙化の解消を進める。(コミュニティ・スクール及び業務改善)

※○自己評価：成果、△自己評価：課題及び改善策 □学校関係者評価（11月及び2月の意見）

#### 重点Ⅰ 危機管理意識を高め、自らの命を守り抜く安全・防災教育

- 点検活動、宮繕活動に定期的・組織的に取り組んでいる。体幹強化などにより保健室来室、怪我が減少傾向にある。残菜も少ない。保護者への一斉メール配信など危機管理体制の充実を図ることができた。  
△歯科受診率や自転車保険加入率が向上したが、一層、活用促進する。食・睡眠・交通など身の回りの生活、情報進歩に伴う事件・事故防止、防災や国民保護等の課題に関する指導を、授業時数も鑑み計画的・組織的に実施する必要がある。  
□地域の人と協力しての通学路の美化作業など、地域と連携した取組を進めていく。

#### 重点Ⅱ 誇りを感じる学校・学級集団

- 新たに導入した教科系のリーダー学習を含め、自分たちで課題の意味を考えて活動・改善することで少しずつ自治的能力や社会参画する力が育ってきている。今後も、生徒がいかに活動(活躍)できているかチェックしながら進めていく。  
△部活動の「自主的・自発的」については、顧問の指導により、以前に比べると良くなってきているが、より効率的・効果的な運営を考え、生徒・教師ともゆとりをもって部活動に取り組むようにする。  
□生徒と教師が共に歩む姿勢がある。生徒数減少も見据えて部活動の効率的な運営を進める。

#### 重点Ⅲ 未来を見据えて個性・能力の伸長を図るキャリア教育

- キャリアノートを活用し、ねらいを明確にしたトライやるウィークの指導、地域特産物を活用した授業などキャリア教育の充実を図ることができた。ボランティア活動に参加する生徒の増加や生徒会の啓発など愛着心が育っている。  
△進路学習もキャリア教育という考えが強い。自己分析等も含めて3年間を通しキャリア教育に取り組めるようにしていく。ボランティア活動についても学校全体で体験を共有できるように工夫する。  
□自分がやりたいことを意思表示できる生徒が増えている。西紀中学校が取り組んでいる地域貢献活動を整理してキャリア教育につなげたい。

#### 重点Ⅳ 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善

- 少人数授業やがんばりタイム等、個に応じた指導に取り組めた。予習、目標の提示、書くことによる個人思考、対話による集団思考、振り返り等の授業スタンダードが定着しつつある。タブレットにより思考を深める授業が増加した。  
△知識・技能が他の学習や生活で活用できるよう、見通しを立てて予習をしたり振り返って復習したりする習慣の確立を図るとともに、対話の後、修正、推敲など振り返りを充実させる。図書委員会を活用し読書への啓発を引き続き進める。  
□評価項目も高く先導的に取り組んでいる。学習習慣の定着の観点から、長期休業中に地域や大学生が学習補充の支援をできたらいい。市の環境整備もあるが、化石など地域教材をいかした学習にも取り組んでもらいたい。

#### 重点Ⅴ 存在感や達成感を大切に生徒指導

- アンケートの電子化や学年担任制により、いじめを積極的に認知し、早期対応するとともに(認知件数4)、警察やゆめハウス、やまびこの郷など関係機関と連携、ケース会議など、些細な変化を見逃さず、きめ細かい生徒指導を進めた。  
△生徒会を活用し、いじめ0宣言を定着させていくとともに、情報機器の活用など今日的課題について組織的、計画的な指導を一層進める必要がある。スクールカウンセラーの活用について、小中連携のもと一層啓発を進める。  
□何事にも一生懸命取り組む姿が見られ、生徒が落ち着いて生活しているのがわかる。有害アプリから子どもを守る取組を青少年健全育成協議会などと協力して進めていく必要がある。

#### 重点Ⅵ 豊かな人間性・社会性を育む特別支援教育、道徳教育、人権教育

- 勤務時間内で特別支援教育委員会を工夫し、個別の支援計画による組織的な特別支援教育を進めた。日本語指導の充実が外国人生徒の意欲向上につながった。学年で道徳を指導する等により、生徒は温かく他者に接する雰囲気がある。  
△個別の支援計画を一層PDCAサイクルで進めるとともに、考え議論する道徳に向けて、生徒が伸びる道徳の評価を研究する必要がある。  
□生徒と教師の距離感が近く、丁寧にかかわっていただいているのが学校生活から伺える。

#### 重点Ⅶ 美しく活気に満ちたコミュニティ・スクール

- ホームページ、電子メールサービスなどにより学校の見える化が進んだ。四つの力委員会により生徒の意見が反映された教育活動が進んでいる。ボランティアに参加する生徒が増加してきている。  
△小・中学校の連携はここ数年でかなり進んだが、高校との連携の在り方を考えていく必要がある。社会に開かれた教育課程を進めるため、四つの力委員会においてめざす資質・能力を一層共有し、教育活動を充実させていく。  
□PTCAフォーラムでの生徒の発表で、長年のボランティアの取組に評価をいただいた。ボランティアの取組をいかし、今後も自主性、主体性を育てて行ければと思う。

#### 重点Ⅷ 笑顔と元気に満ちた教職員組織

- 会議の効率化を進めることができ、一人一研究授業など授業スタンダードに基づく授業研究を無理なく進め、教職員の意識に定着してきている。  
△その日のうちの学校行事改善協議会など、やり方の工夫、効率化を進め、多忙感を解消する中で多忙化の解消を進める必要がある。  
□会議の効率化など様々な取組をされている。校務の効率化などを一層図ってもらいたい。